

## 英語民間検定試験の対応について

2020年度(2021年度大学入試)から始まる大学入学共通テストで活用される英語民間検定試験のうち、国際ビジネスコミュニケーション協会(IIBC)が、実施しているTOEICの参加辞退を申し出たことを、7月2日付でプレスリリースしました。この段階で参加を取りやめたことが話題になりました。2018年3月26日、大学入試センターから大学入試英語成績システムへの参加要件を満たしていると認められたのに、いまになって参加申込みを取り下げたのです。また、現2年次生からの高大接続改革に伴う新入試の要項等を、多くの大学が示すことができていない状況が続いています。今後、9月には各大学から確定した要項が示されると思います。

新入試において多くの大学で主に検討されていることは、大学入学共通テストの利用の有無、大学入学共通テストの国語・数学の記述式問題の扱い、英語の民間検定試験の扱いについてです。

文部科学省は高大接続改革の必要性を述べ、それを受け2021年度入試から、受験生の学力の3要素(①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)をより多面的・総合的に、どのように評価するのか、各大学に求めてきました。なかでも英語民間検定試験については、英語の4技能(読む、書く、聞く、話す)の力を測るため、多くの大学が課すような流れできています。しかしながら、未だに多くの大学が確定した要項を公表せず、各大学のホームページにも掲載されていません。ホームページに掲載されているのは、ほとんどの大学では基本方針や、検討状況などの予告の段階にとどまっています。

文部科学省より大学入試英語成績システムへの参加要件が認められている英語民間検定試験は次の7つです。

- ① ケンブリッジ英語検定 ② 実用英語技能検定 ③ GTEC ④ IELTS ⑤ TEAP  
⑥ TEAP cBT ⑦ TOEFL iBT

これらの検定試験の成績(スコア)をCEFR(セファール)の判定基準によって段階値で評価され、そのスコアを大学入試センターが運営する大学入試英語成績システムにより管理され、各大学に提供されるシステムになっています。

CEFRとは何か、英語ではCommon European Framework of Reference for Languagesで、ヨーロッパ言語共通参照枠といいます。CEFRはヨーロッパ全体で外国語の学習者の習得状況を示す際に用いられる指標(参照枠)です。CEFRは英語だけの検定試験に参照枠があるのではなく、仏語、独語、西語、伊語、波蘭語、和蘭語、瑞典語、芬蘭語、露語、希臘語、亜刺比亜語、日本語、中国語、朝鮮語などの参照枠もあります。

CEFRの参照枠はA1、A2、B1、B2、C1、C2のランクに分かれています。初歩のA1からネイティブに近いC2まであり、各検定試験の点数・スコアがランクに示されています。例え

ばA2レベルですと、実用英語技能検定ですと英検準2級、2級に該当し、GTECなら690～959点に該当します。現在、文部科学省は生徒の英語向上推進プランを行っていますが、それによると高校生の場合、A2ランクで50%を目指しています。しかしながら、本校の生徒でもA2ランクに達している生徒は多くはありません。

2021年度入試で各大学はどの程度、英語民間検定試験を利用するのでしょうか。最終的には、各大学から確定した要項が出ていないので分からない部分はありますが、国立大学においては9割以上の大学が利用するようです。利用しないのは北海道大学など10大学といわれています。現在までに示されている国公立大学の一部の対応を記しておきます。

- 北海道大学—全学部 出願要件とはしない
- 東北大学—全学部ともA2レベル以上が望ましいが、志願者全員に出願要件とはしない
- 東京外国語大学—全学部 出願要件でA2レベル以上
- 東京大学—全学部 出願要件でいずれか1つを求める
- ① A2レベル以上 ②A2レベルの英語力があることが明記された高校による証明書
- ③上記の2つが提出できない理由書の提出
- 横浜国立大学 教育学部、経営学部、理工学部、都市科学部はA1レベル以上 経済学部はA2レベル以上 但し、教育学部と都市社会共生学科ではレベルに応じて大学入学共通テストの英語の得点に加点
- 横浜市立大学—全学部 活用するが具体的な活用は未公表
- 首都大学東京—全学部 活用するが具体的な活用は未公表
- 私立大学でも同様に、いまだに多くの大学で確定した要項が公表されていませんが、現在までに分かる範囲(予告等)で記しておきます。
- 慶應大学—全学部 利用しない
- 早稲田大学—政治経済学部、国際教養学部 一般選抜で得点に加点
- 明治大学—大学入学共通テスト利用 得点に加点
- 東海大学—一般選抜 大学入学共通テストの英語成績と併用型で検討中
- 立正大学—一般選抜 個人に加点
- 明治学院大学—大学入学共通テスト利用の英語では加点
- 神奈川大学—英語の4技能を図るため活用を前提に入試選抜を実施
- 鎌倉女子大学—一般選抜B日程 個人に加点
- 桜美林大学—一般選抜で既に活用(高い方を点数とする)

2021年度大学入試まであと1年半です。未だに各大学の英語民間検定試験の利用等が明瞭に示されていませんが、英語民間検定試験を受検してA1レベル以上(英検3級)を取れば、受験できる大学の幅が広がったり、加点され有利になったりします。**大学進学を考えるなら、英語民間検定試験を受ける方向で入試に臨んでください。**

**\*最新情報は各自で大学のホームページ等で確認してください\***